

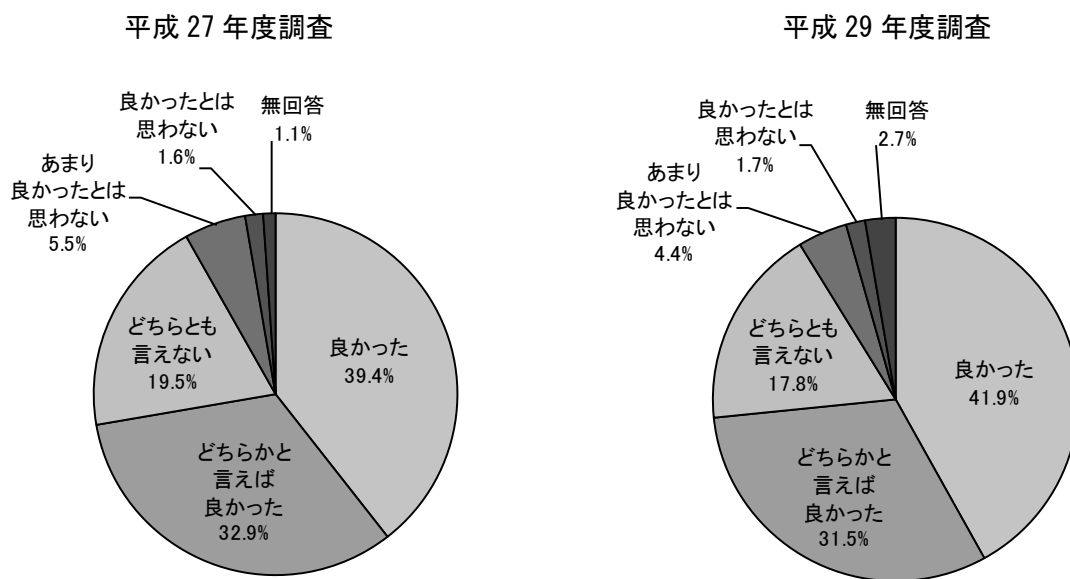
● 市政世論調査結果の分析

本市では、市民の生活環境への意識、市の施策に対する評価及び市政への意見・要望を把握し、本市のまちづくりに有効に活用するため、市政世論調査を毎年実施している。

そこで、八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定した平成 27 年度の市政世論調査と、平成 29 年度の市政世論調査を比較し、市民の意識がどう変化したか分析をする。

1. 八王子市に住んで良かったと思うか

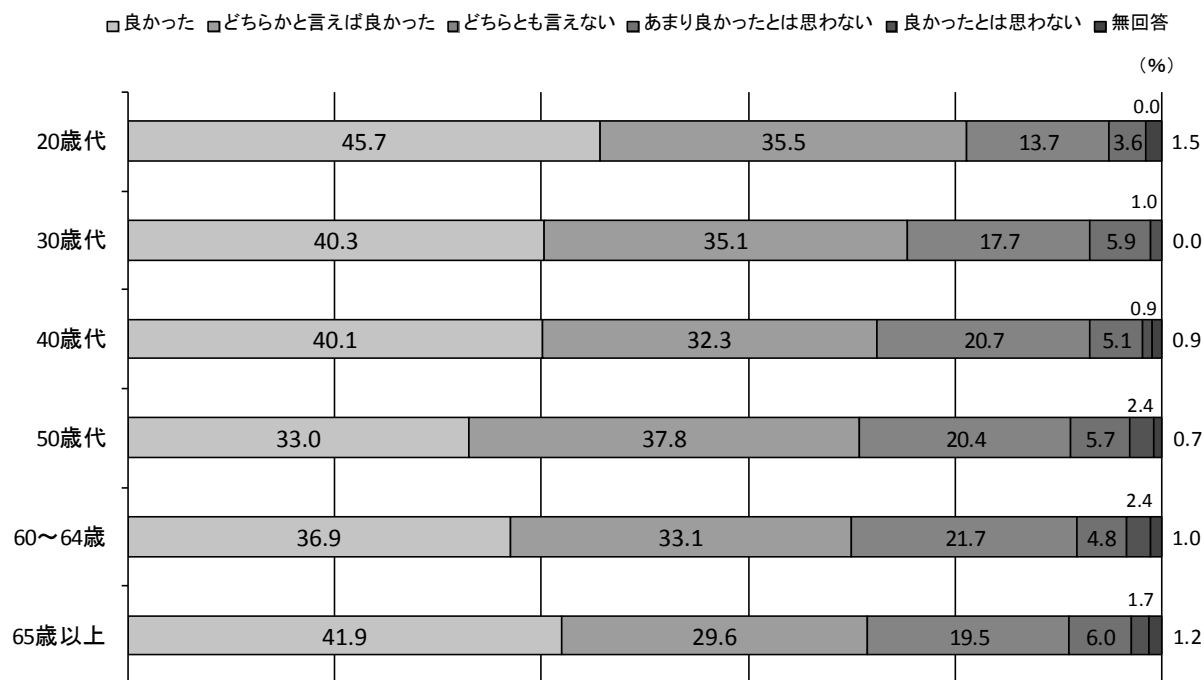
(1) 全年代の調査結果



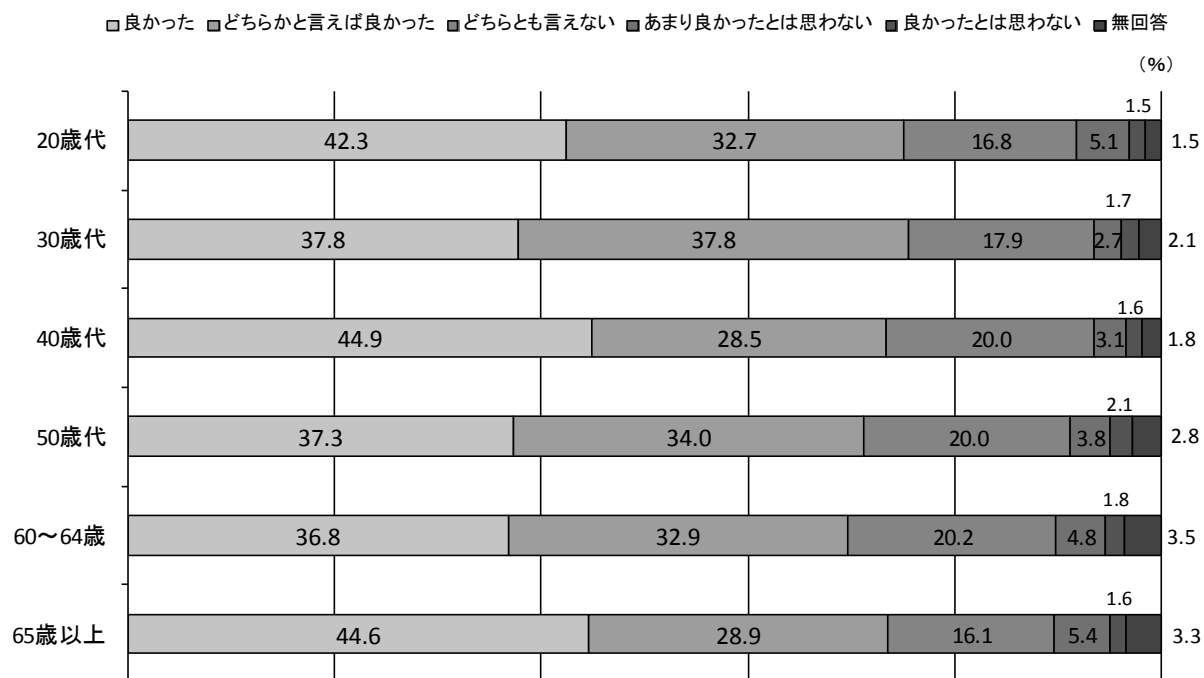
八王子市に住んで良かったと思うかについては、「良かった」が 39.4% (H27)、41.9% (H29)、「どちらかと言えば良かった」が 32.9% (H27)、31.5% (H29) となっており、「良かった」と「どちらかと言えば良かった」を合わせると、平成 27 年度、平成 29 年度ともに約 7 割強が住んで良かったと考えている。

(2) 年代別の調査結果

平成 27 年度調査 (年代別)



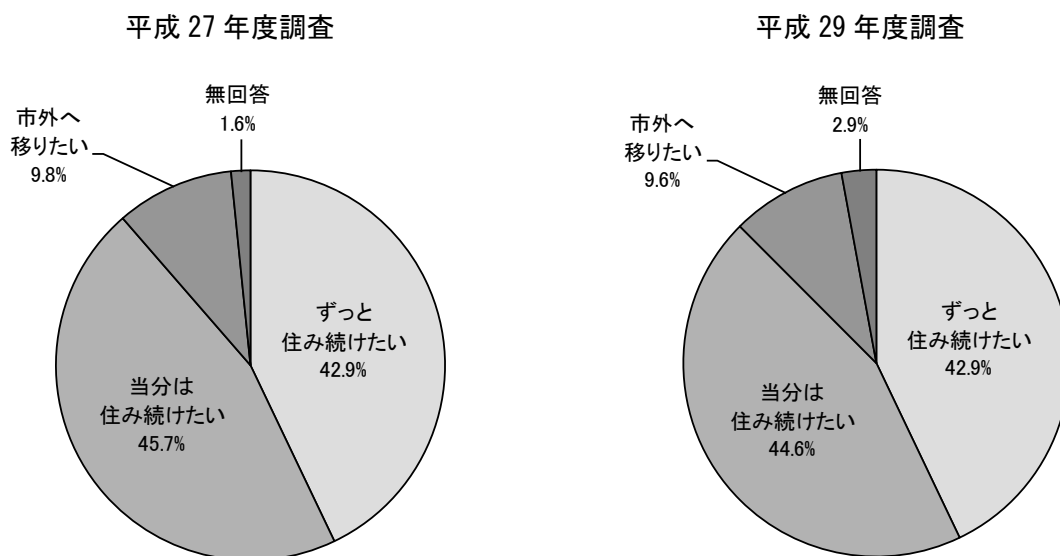
平成 29 年度調査 (年代別)



回答者の年代別に比較すると、「良かった」と「どちらかと言えば良かった」を合わせた割合は、平成 27 年度、平成 29 年度ともに 20 歳代及び 30 歳代が高くなっているが、20 歳代の平成 27 年度と平成 29 年度を比較すると、約 6 ポイント減少している。

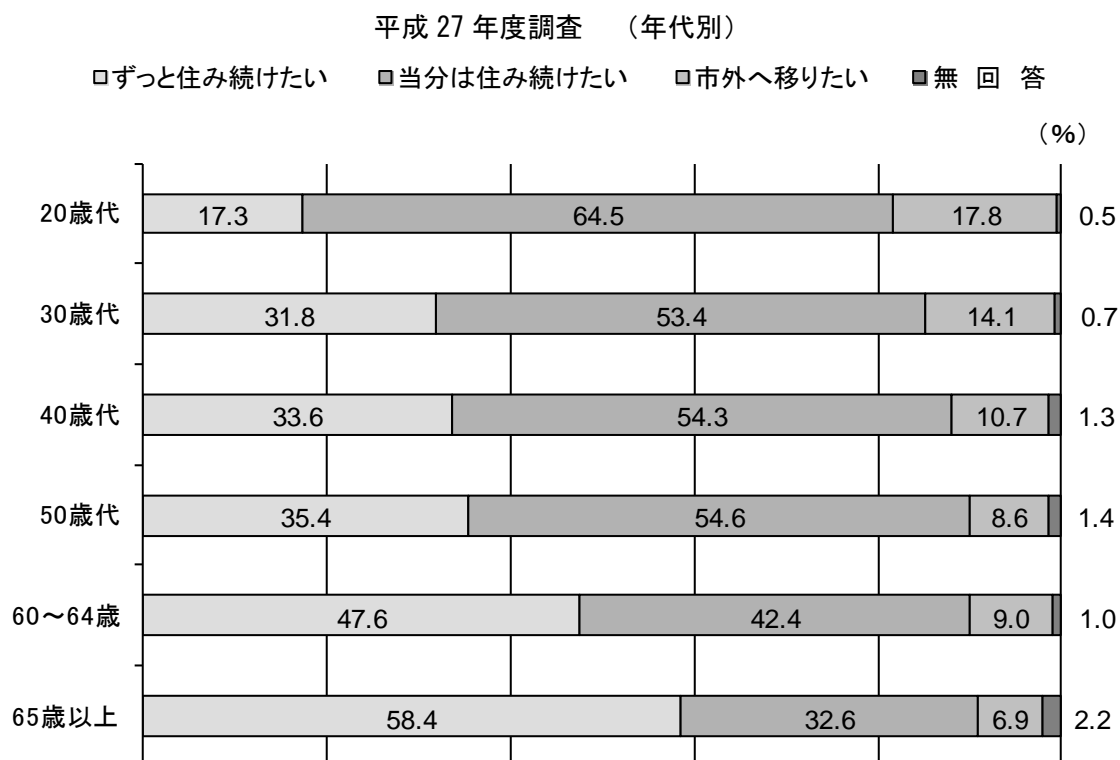
2. 八王子市への定住意向

(1) 全年代の調査結果

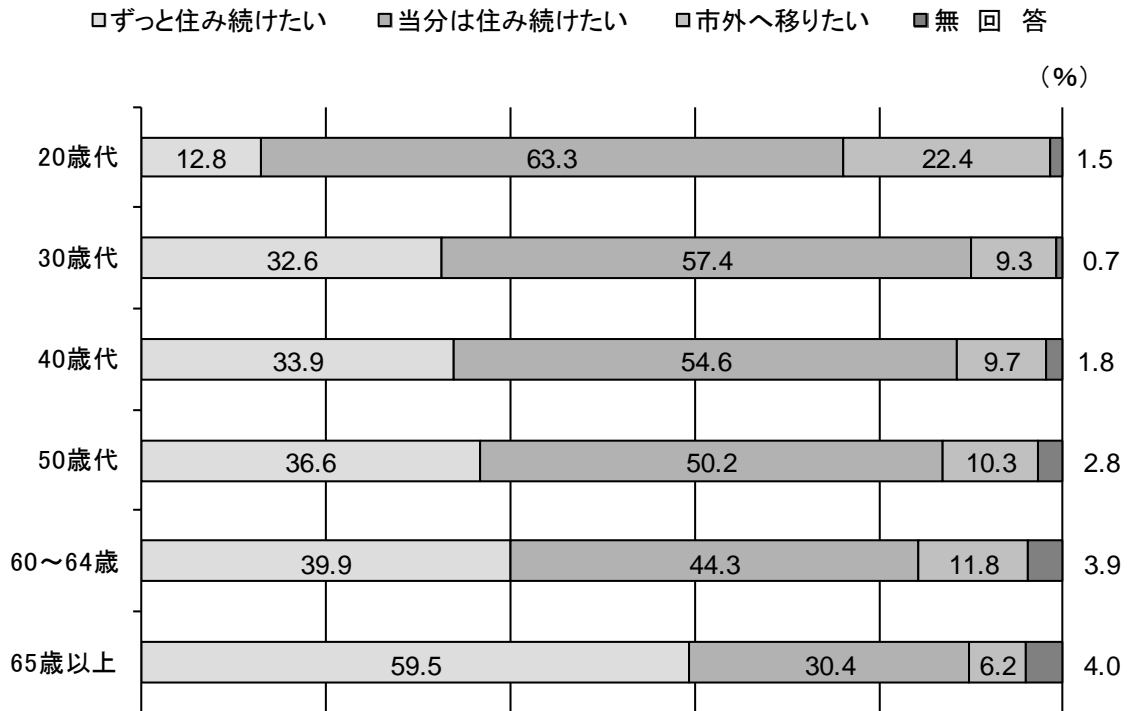


八王子市への定住意向については「当分は住み続けたい」が 45.7% (H27)、44.6% (H29) と最も多く、次いで「ずっと住み続けたい」が 42.9% (H27、H29) で続いている。「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」を合わせると、平成 27 年度、平成 29 年度ともに 9 割近くが住み続けたいと考えている。

(2) 年代別の調査結果



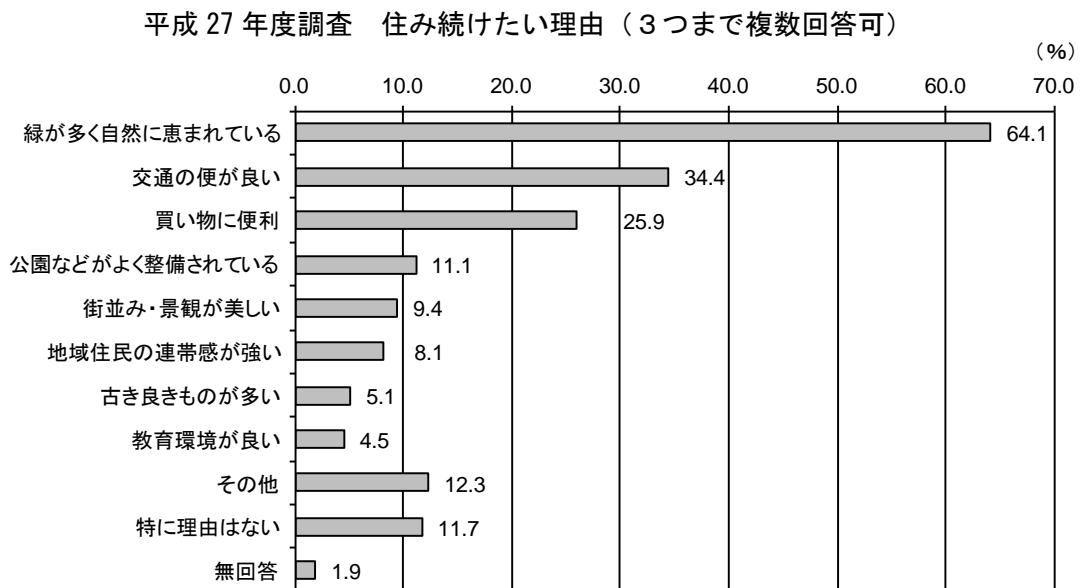
平成 29 年度調査 (年代別)



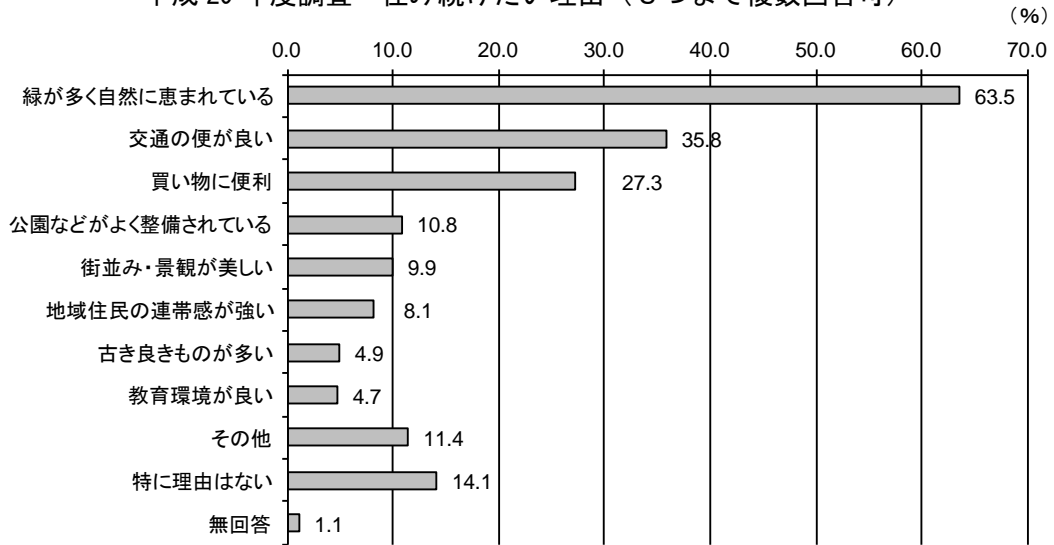
八王子市への定住意向を、回答者の年代別に比較すると、「ずっと住みたい」は、平成 27 年度、平成 29 年度ともに、年代が上がるにつれて高くなっている。

一方、「ずっと住みたい」「当分は住みたい」を合わせたものを平成 27 年度と平成 29 年度を比較すると、20 歳代が約 6 ポイント下がっているが、30 歳代は約 5 ポイント上昇し、全年代の中で最も高くなっている。

(3) 「住みたい」理由の調査結果

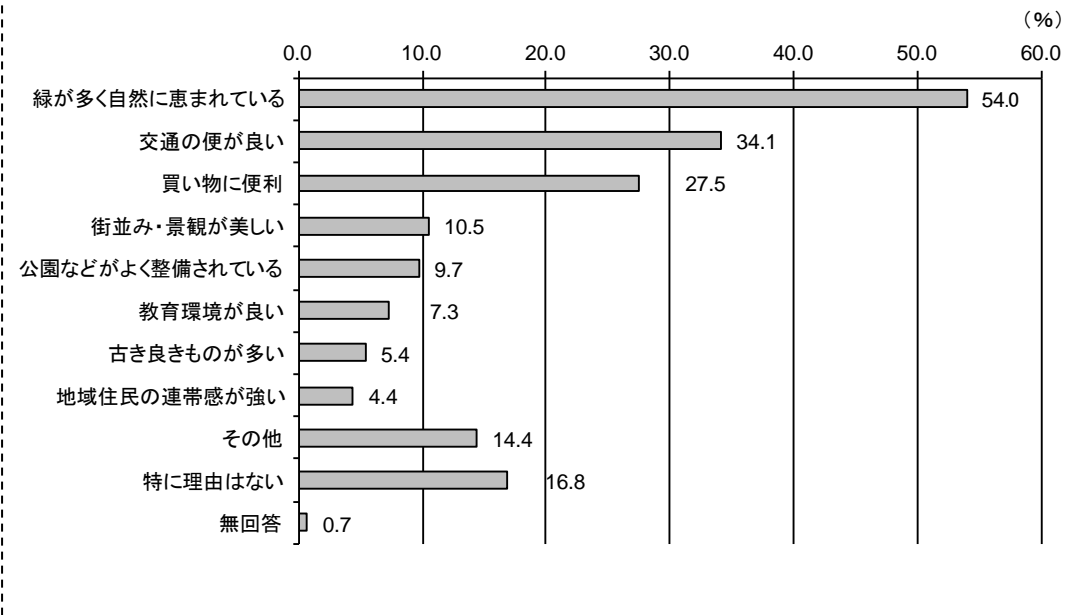


平成 29 年度調査 住み続けたい理由（3つまで複数回答可）



(参考) 平成 29 年度調査 住み続けたい理由（3つまで複数回答可）

【20代、30代の抜粋】

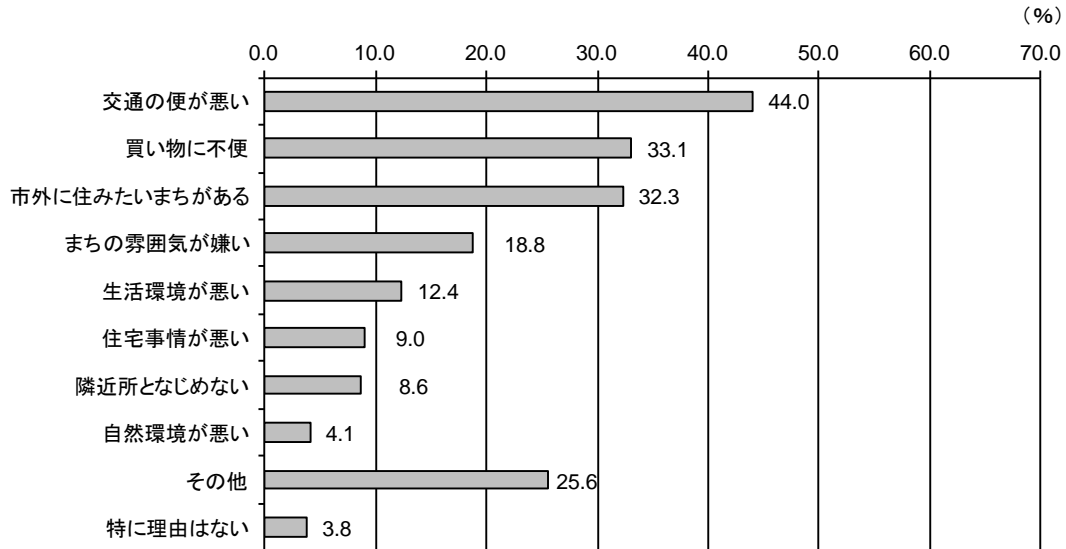


定住意向について「ずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」と回答した理由の順位は、平成 27 年度と平成 29 年度の調査結果に変化はない。

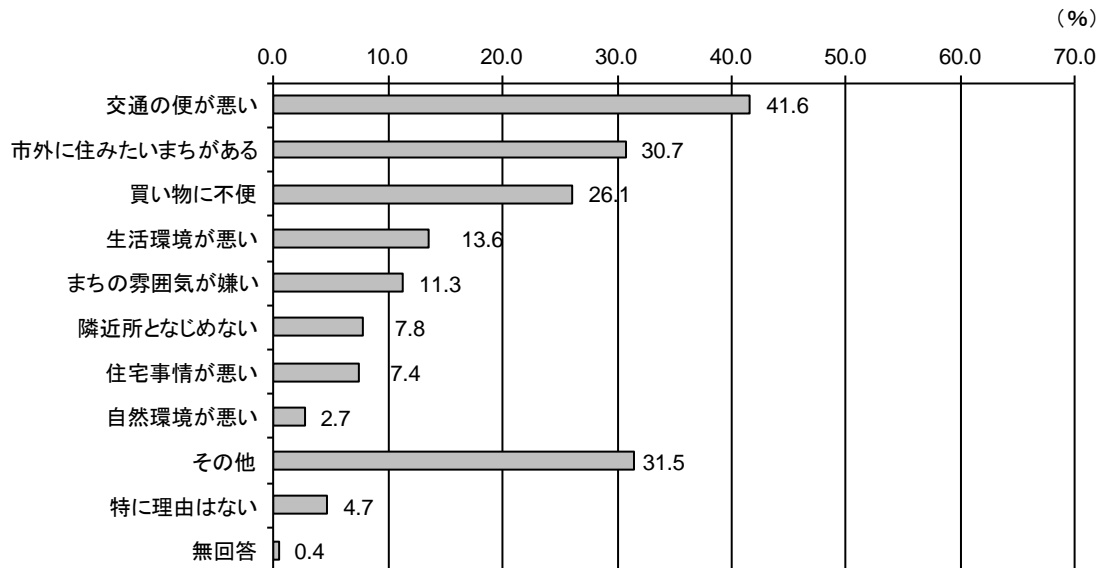
平成 29 年度調査について、若年層（20 代、30 代）の結果を抜粋し、全年代の調査結果と比較すると、概ね傾向は一致しているが、若年層の結果が「緑が多く自然に恵まれている」が約 10 ポイント低く、また、「地域住民の連帯感が強い」が約 4 ポイント低くなっている。

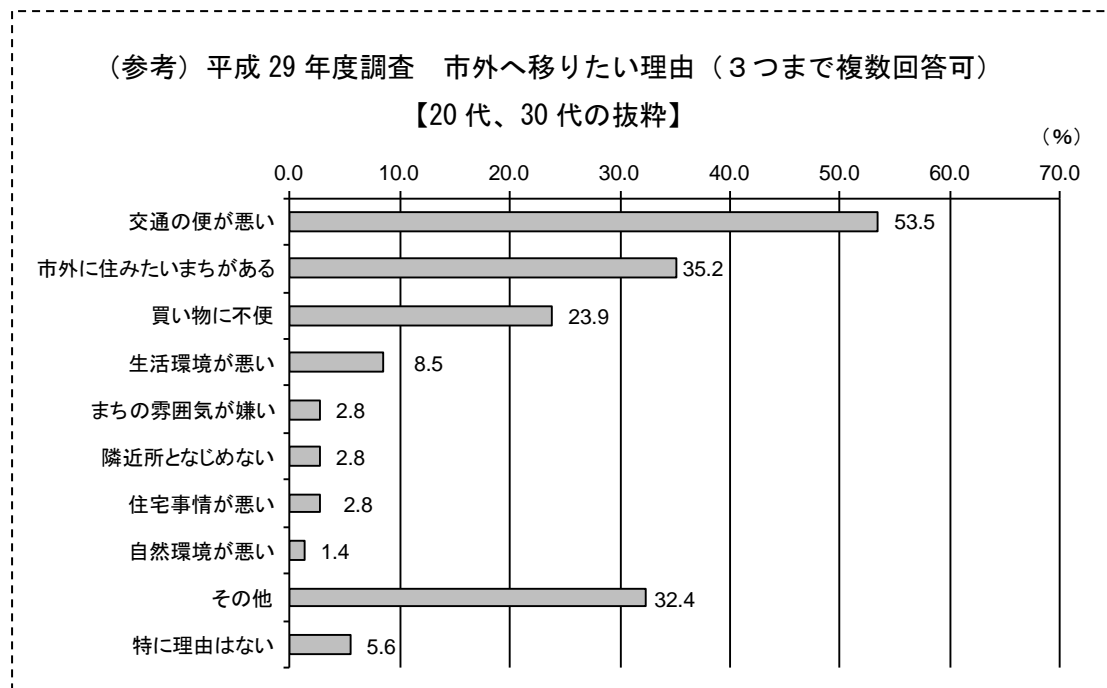
(3) 「市外へ移りたい」理由の調査結果

平成 27 年度調査 市外へ移りたい理由（3つまで複数回答可）



平成 29 年度調査 市外へ移りたい理由（3つまで複数回答可）





「市外へ移りたい」と回答した理由は、「交通の便が悪い」「買い物に不便」「市外に住みたいまちがある」が、平成 27 年度、平成 29 年度ともに上位を占めている。

平成 29 年度調査について、若年層 (20 代、30 代) の結果を抜粋し、全年代の調査結果と比較したところ、傾向は一致している。

3. 八王子市への要望

平成 27 年度調査 重点施策要望 (3つまで複数回答可) 上位 5 位

属性	順位						
	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
全体	2,723	高齢者福祉 (39.0)	保健・医療 (23.0)	子ども・ 子育て支援 (21.0)	環境の保全 (19.4)	防災・減災対策 (17.6)	
20歳代	197	子ども・ 子育て支援 (32.0)	雇用・就労支援 (27.9)	交通機関・駐車場の 整備 (22.3)	保健・医療 (18.8)	環境の保全 (16.2)	
30歳代	305	子ども・ 子育て支援 (55.7)	公園や遊び場の整備／保健・医療 (22.3)		学校教育 (20.7)	雇用・就労支援 (16.4)	

平成 29 年度調査 重点施策要望（3 つまで複数回答可）上位 5 位

(%)

属性	順位	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体		2,666	高齢者福祉 (39.1)	保健・医療 (21.6)	子ども・ 子育て支援 (20.8)	防災・減災対策 (20.7)	環境の保全 (17.7)
20歳代		196	子ども・ 子育て支援 (31.1)	交通機関・駐車場の整備 (20.9)	保健・医療 (17.9)	防災・減災対策 (16.8)	防犯対策 (16.3)
30歳代		291	子ども・ 子育て支援 (50.5)	学校教育 (20.3)	防災・減災対策 (19.2)	防犯対策 (18.9)	保健・医療 (18.6)

市政全般について、特に力を入れてほしいと思う施策について、全年代の調査結果の上位 5 位は、平成 27 年度、平成 29 年度ともにほぼ同様の結果となっている。そこで、若年層（20 代、30 代）の結果を抜粋したところ、「子ども・子育て支援」が平成 27 年度、平成 29 年度ともに最も高くなっている。